さいたま市不妊治療費助成事業　実施医療機関　現況状況報告書(必須様式)

医療機関名	配置人員（人）								治療の種類								実施事項													
	産婦人科専門医	うち、生殖医療専門医	泌尿器科専門医	うち、生殖医療専門医	看護師	胚培養士／エンブリオロジスト（＊1）	コーディネイター（＊2）	カウンセラー（＊2）	人工授精（＊3）		体外受精＋新鮮胚移植（＊4）		凍結融解胚移植（＊5）		顕微授精（＊6）		精巣内精子回収術（＊7）		自医療機関の不妊治療の結果による妊娠に関して、公益社団法人日本産婦人科学会における個別調査票（治療から妊娠まで及び妊娠から出産まで）への登録を行っている。	自医療機関で分娩を取り扱わない場合には、妊娠した患者を紹介し、妊娠から出産に至る全ての経過について報告を受ける等、分娩を取り扱う他の医療機関と適切な連携をとっている。	医療に係る安全管理のための指針を整備し、医療機関内に掲げている。	医療に係る安全管理のための委員会を設置し、安全管理の現状を把握している。	医療に係る安全管理のための職員研修を定期的に実施している。	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策を講じている。	自医療機関において保存されている配偶子、受精卵の保存管理及び記録を安全管理の観点から適切に行っている。	対外での配偶子・受精卵の操作に当たっては、安全確保の観点から必ずダブルチェックを行う体制を構築しており、ダブルチェックは、実施責任者の監督下に、医師・看護師・胚培養士／エンブリオロジストのいずれかの職種の職員２名以上で行っている。	倫理委員会を設置している。	公益財団法人日本医療機能評価機構の実施する医療事故情報収集等事業に登録・参加している。	不妊治療にかかる記録については、保存期間を２０年以上としている。	里親・特別養子縁組制度の普及啓発や関係者との連携を実施している。
									年間実施件数（件）	費用（円）	年間実施件数（件）	費用（円）	年間実施件数（件）	費用（円）	年間実施件数（件）	費用（円）	年間実施件数（件）	費用（円）												
セントウィメンズクリニック	2	1	0.1	1	7.65	4.1	0	1	788	17,300	210	300,000～370,000	467	130,000	422	49,000	0	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
すごうウィメンズクリニック	1	0	1	0	4	2	0	1	41	25,000	42	450,000～	223	150,000	82	90,000	0	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-
かしわざき産婦人科	4	1	0	0	20	1	0	2	600	26,000	111	190,000～290,000	111	150,000	46	50,000	0	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-
秋山レディースクリニック	1	0	0	0	11	2	0	1	1,857	22,000	113	260,000～740,000	711	160,000	393	55,000	0	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大宮レディスクリニック	1	0	0	0	5	3	0	1	613	20,000	308	370,000～700,000	351	160,000	281	66,000	0	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
大和たまごクリニック	2	0	0	0	1	1	0	0	267	45,000	3	400,000～567,000	65	153,000	33	82,000	0	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-
医療法人慈正会丸山記念総合病院	4	2	0	0	1	3	0	0	135	16,500	94	500,000～520,000	117	200,000	115	70,000	0	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あらかきウィメンズクリニック	1	0	0	0	7	2	1	0	1,460	50,000	27	420,000～470,000	437	200,000	144	38,500	0	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○

（＊1）産婦人科専門医または、泌尿器科専門医が兼務する場合、胚培養士・エンブリオロジストに含まない。
（＊2）産婦人科専門医・泌尿器科専門医・看護師・胚培養士・エンブリオロジストが兼務する場合は、コーディネーター及びカウンセラーに含まない。
（＊3）人工授精は、月経周期開始から人工授精実施、妊娠確認までの一連の治療周期をさす。費用については、卵巣刺激等にかかる費用も含めたおおよその総額である。
（＊4）体外受精＋新鮮胚移植は、卵巣刺激、採卵/採精、前培養/媒精/胚培養、新鮮胚移植、妊娠確認までの一連の治療周期をさす。費用については、これら一連の治療周期にかかる総額の上限と下限である。
（＊5）凍結融解胚移植は、凍結胚の融解、移植、黄体補充、妊娠確認までの一連の治療周期をさす。費用については、これら一連の治療周期にかかるおおよその総額である。
（＊6）顕微授精にかかる費用については、未受精卵1個に対し、顕微鏡下に精子を注入する手技のみにかかる費用である。
（＊7）精巣内精子回収術は、Simple TESEをさす。費用については、手術にかかる費用である。

さいたま市不妊治療費助成事業　実施医療機関　現況状況報告書(任意様式)

医療機関名	直近の一年間の治療実績																				直近の一年間の来院患者情報										治療指針
	新鮮胚を用いた治療成績																	凍結胚を用いた治療成績				体外受精・顕微授精・胚移植を行った患者実数（名）						精巣内精子採取術を行った患者実数（名）					施設における統一した治療指針がある場合には記載（自由記載）
	IVF-ET（すべての卵子に体外受精を実施）					Split（体外受精と顕微授精に分けて実施）					ICSI（すべての卵子に顕微授精を実施）					合計					融解胚子宮内移植											
	採卵総回数（回）	移植総回数（回）	妊娠数（回）	生産分娩数（回）	移植あたり生産率（%）	採卵総回数（回）	移植総回数（回）	妊娠数（回）	生産分娩数（回）	移植あたり生産率（%）	採卵総回数（回）	移植総回数（回）	妊娠数（回）	生産分娩数（回）	移植あたり生産率（%）	採卵総回数（回）	移植総回数（回）	妊娠数（回）	生産分娩数（回）	移植あたり生産率（%）	移植総回数（回）	妊娠数（回）	生産分娩数（回）	移植あたり生産率（%）	二十五歳未満	二十五歳以上三十歳未満	三十歳以上三十五歳未満	三十五歳以上四十歳未満	四十歳以上四十三歳未満	四十三歳以上	二十歳未満	二十歳以上三十歳未満	三十歳以上四十歳未満	四十歳以上五十歳未満	五十歳以上	
セントウィメンズクリニック	32	18	9	7	38.9	44	8	0	0	0	121	64	15	12	18.8	197	90	24	19	21.1	202	100	74	36.7	0	31	95	197	161	128	–	–	–	–	–	—
すごうウィメンズクリニック	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	統計処理を行っていないとのことで未報告														–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	—
かしわざき産婦人科	65	27	3	3	11.0	0	0	0	0	0	46	25	7	3	12.0	111	52	10	6	11.5	111	42	33	29.7	0	13	58	75	60	16	–	–	–	–	–	○40歳以上、AMH＜1.0の場合は、低刺激から自然周期。 ○人工授精5回以上でIVFへのステップアップを提案。 ○38歳以上の場合、初診でIVFを提案（即IVFを勧める）。
秋山レディースクリニック	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	統計処理を行っていないとのことで未報告														–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	—
大宮レディスクリニック	16	7	3	2	28.6	7	3	0	0	0	54	34	5	3	8.8	77	44	8	5	11.4	54	18	12	22.2	0	10	45	77	54	38	–	–	–	–	–	○ホルモン値による治療の選択：加齢に伴うホルモン値の悪化、採卵数の減少などを考慮し治療計画を立てる。卵巣予備機能を表すとされるAMHにより3段階に分類し治療のステップを検討。（例：AMH4ng/ml以上はタイミング指導、2-4ng/ml未満は人工授精から、2ng/ml未満はART） ○調節卵巣刺激：アンタゴニストによる高刺激を基本とし、良好採卵数が2個以下の場合は、クロミッドによる低刺激を実施。 ○栄養療法：卵胞発育は2ヵ月半の長きにわたって育まれるものであり、月経後2週間で卵の質が劇的に変化する可能性は低いと考え、治療と共に健康な身体づくりを目指し、栄養療法を希望者に実施。実際、来院される多くの妊娠希望者は、貧血とカロリー不足による低蛋白血症と血液濃縮が合併している。採血検査から不足している栄養素を客観的に判断して、鉄剤やビタミン剤の処方と食事の改善、生活習慣の改善、運動をお勧めしている。加齢による不妊治療の原因の一つとして、抗酸化能と代謝の低下を考え、改善のため、玄米や具沢山の味噌汁と納豆を中心に、肉などのたんぱく質と野菜をたっぷり摂取するようにお勧めし、必要に応じてサプリメントをお薦めしている。 パートナーの男性においても、精子数の減少がみられ、さらにストレスなどで重症化して運動率の低下も認められる。7～8割が朝食を欠食、不規則な生活を送っている方が多いため、早寝と朝食を摂るようお勧めしている。
大和たまごクリニック	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	統計処理を行っていないとのことで未報告														–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	—
医療法人慈正会丸山記念総合病院	7	5	1	1	20	9	8	2	2	25	30	23	2	1	2.8	46	36	5	4	11.1	38	11	9	23.7	0	4	20	46	22	21	–	–	–	–	–	—
あらかきウィメンズクリニック	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	統計処理を行っていないとのことで未報告														–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	—